

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和7年度 第1回滋賀県がん診療連携協議会																																								
開 催 期 間	令和7年8月29日（金）15：00～16：00																																								
開 催 方 法	ZoomによるWeb開催																																								
出 席 者	<div>【委員】</div> <table><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>足立 壯一（会長）</td></tr><tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>田中 俊宏（副会長）</td></tr><tr><td>大津赤十字病院</td><td>小川 修（副会長）</td></tr><tr><td>公立甲賀病院</td><td>辻川 知之</td></tr><tr><td>彦根市立病院</td><td>中野 顯</td></tr><tr><td>市立長浜病院</td><td>高折 恭一（代理：田久保 康隆）</td></tr><tr><td>高島市民病院</td><td>武田 佳久</td></tr><tr><td>一般社団法人滋賀県医師会</td><td>高橋 健太郎</td></tr><tr><td>一般社団法人滋賀県歯科医師会</td><td>中村 彰彦</td></tr><tr><td>一般社団法人滋賀県薬剤師会</td><td>木村 昌義</td></tr><tr><td>公益社団法人滋賀県看護協会</td><td>草野 とし子</td></tr><tr><td>公益社団法人滋賀県診療放射線技師会</td><td>武田 宜明</td></tr><tr><td>公益社団法人滋賀県臨床検査技師会</td><td>大本 和由</td></tr><tr><td>一般社団法人滋賀県歯科衛生士会</td><td>土屋 奈美</td></tr><tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>菊井 津多子</td></tr><tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>柳田 英代</td></tr></table> <div>【部会長】</div> <table><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>山内 智香子（相談支援部会長）</td></tr><tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 將公（地域連携部会長）</td></tr><tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>醍醐 弥太郎（診療支援部会長）</td></tr></table> <div>(敬称略)</div>			滋賀県立総合病院	足立 壯一（会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	田中 俊宏（副会長）	大津赤十字病院	小川 修（副会長）	公立甲賀病院	辻川 知之	彦根市立病院	中野 顯	市立長浜病院	高折 恭一（代理：田久保 康隆）	高島市民病院	武田 佳久	一般社団法人滋賀県医師会	高橋 健太郎	一般社団法人滋賀県歯科医師会	中村 彰彦	一般社団法人滋賀県薬剤師会	木村 昌義	公益社団法人滋賀県看護協会	草野 とし子	公益社団法人滋賀県診療放射線技師会	武田 宜明	公益社団法人滋賀県臨床検査技師会	大本 和由	一般社団法人滋賀県歯科衛生士会	土屋 奈美	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	柳田 英代	滋賀県立総合病院	山内 智香子（相談支援部会長）	大津赤十字病院	辻 將公（地域連携部会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎（診療支援部会長）
滋賀県立総合病院	足立 壯一（会長）																																								
滋賀医科大学医学部附属病院	田中 俊宏（副会長）																																								
大津赤十字病院	小川 修（副会長）																																								
公立甲賀病院	辻川 知之																																								
彦根市立病院	中野 顯																																								
市立長浜病院	高折 恭一（代理：田久保 康隆）																																								
高島市民病院	武田 佳久																																								
一般社団法人滋賀県医師会	高橋 健太郎																																								
一般社団法人滋賀県歯科医師会	中村 彰彦																																								
一般社団法人滋賀県薬剤師会	木村 昌義																																								
公益社団法人滋賀県看護協会	草野 とし子																																								
公益社団法人滋賀県診療放射線技師会	武田 宜明																																								
公益社団法人滋賀県臨床検査技師会	大本 和由																																								
一般社団法人滋賀県歯科衛生士会	土屋 奈美																																								
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																								
滋賀県がん患者団体連絡協議会	柳田 英代																																								
滋賀県立総合病院	山内 智香子（相談支援部会長）																																								
大津赤十字病院	辻 將公（地域連携部会長）																																								
滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎（診療支援部会長）																																								
欠 席 者	<div>【委員】</div> <table><tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>山田 忠利（代理：時田 幸世）</td></tr></table> <div>【部会長】</div> <table><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>花木 宏治（緩和ケア推進部会長）</td></tr><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>山本 秀和（がん登録推進部会長）</td></tr><tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>今井 晋二（研修推進部会長）</td></tr></table> <div>(敬称略)</div>			滋賀県健康医療福祉部	山田 忠利（代理：時田 幸世）	滋賀県立総合病院	花木 宏治（緩和ケア推進部会長）	滋賀県立総合病院	山本 秀和（がん登録推進部会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	今井 晋二（研修推進部会長）																														
滋賀県健康医療福祉部	山田 忠利（代理：時田 幸世）																																								
滋賀県立総合病院	花木 宏治（緩和ケア推進部会長）																																								
滋賀県立総合病院	山本 秀和（がん登録推進部会長）																																								
滋賀医科大学医学部附属病院	今井 晋二（研修推進部会長）																																								
議 事 概 要	<div>【報告事項】</div> <div>1. （国）都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告</div> <div>【がん診療提供体制のあり方に関する検討会の経過報告】</div> <p>均てん化・集約化について、現在の検討状況の説明があった。がん対策基本法という法律に基づき、国ががん対策基本計画を策定、各都道府県が計画を策定している。現在は第4期で『誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す』という目標がたてられ、がん予防、医療、共生の3本柱となっており、がん医療に均てん化・集約が明記されている。</p> <p>取り組むべき施策として、地域の実情に応じ、均てん化を推進するとともに、持続可能ながん医療の提供に向け、拠点病院等の役割分担を踏まえた集約化を推進することとある。各地域の実情については、国から検討に必要なデータ提供が行われる。</p>																																								

昨年12月から、2040年を見据えたがん診療提供体制のあり方に関する検討会が開催されており、がん医療提供体制の均てん化・集約化に関する報告書が7/25に取りまとめをされ、各都道府県に通知される予定。

2040年に向けて、がん罹患者数は、全体として都市部を中心に増加すると見込まれており、滋賀県も5～10%の増加が見込まれている。がん患者における手術療法の需要については、沖縄と東京のみが増加で、その他45道府県では減少となっているが、滋賀県は－5～0%と、減少数は少ないと見込まれている。放射線療法の需要については、全国で増加し、滋賀県は沖縄、東京、神奈川と並んでトップの30%以上の増加が見込まれている。薬物療法の需要については、全国的に増加し、滋賀県は沖縄、東京、神奈川、愛知と並んでトップの20%以上の増加が見込まれている。がん患者における三大療法の全国の需要推計では、手術療法は5%減、放射線療法は15%増、薬物療法は24%増となると見込まれている。

がん患者への診療の供給について、手術療法の供給については、医師総数は増加しているものの、外科医は増加しておらず、むしろ減少すると見込まれている。今後は外科医が少ないために手術を受けることができないということが危惧されている。放射線療法については、放射線専門医は増加する見込み。ただ、放射線治療の問題点としては、医療機器が高額であるということがある。放射線治療装置は1台が高額なので、患者を集めることができないとランニングコストを賄うことができなくなる。学会で調べられた結果、昔は150～200人の患者を集めればペイできたが、治療装置が高額化しているため、患者を200人以上集められないと、病院経営としては難しくなるとのことだった。

【データと戦略的議論から導くがん医療提供体制への処方箋－集約化も含めた地域最適の追求－】

新たな支援体制について、8月に厚生労働省より通知が出る予定となっており、また、国立がん研究センターから議論に資するデータ整理と提供が行われる予定。そのデータをもとに、持続可能ながん医療の提供体制について国立がん研究センターを中心に議論を行い、地域ごとの最適ながん医療の提供を目指していくことになる。

均てん化については、緩和ケアやリハビリなどの連携が必要。また、均てん化と集約化のどちらか一方ではなく、地域の実情に合わせた分かりやすいデータ分析が必要となる。

今後2040年に向けて、均てん化・集約化の議論が加速していく。国立がん研究センターは、データに基づく議論の技術的支援の実施可能性を検討中。特に、データ等に基づき医療提供体制の検討を促進する実装戦略を開発し、患者等のニーズを踏まえた情報公開の進め方を検討される。

【滋賀県の内容について】

現在、診療支援部会において、病院別と疾患別の治療法一覧を作成している。均てん化・集約化については、治療法一覧のような形式でよいと考えているが、8月に国から来る予定の通知の内容によっては、診療支援部会でお願いすることとなる。現在の治療法一覧については、がん情報しがに掲載されている。

【都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会規約について】

まだ案の段階であるが、新旧対照表が示された。主な変更点としては、規約中、「協議会」とあったのが、「国協議会」と明記された。また、都道府県拠点病院の項目については、「PDCAサイクルの確保」が「医療の質の改善の取組」となった。以前から医療の質の改善については通知がされており、現在、協議会のPDCAサイクル項目を医療安全に関する各病院の取組状況としている。具体的には、医療安全対策、第三者評価、患者窓口を設置し患者からの苦情や相談に応じられる体制を確保、医療安全に関する事例の検討回数としているが、全病院が体制を整えられているので、来年度は夏の通知を踏まえ、今後項目について変更を検討していく。今年度については、PDCAサイクルを継続する。

各部会のPDCAについては、第4期がん対策推進基本計画を参考に、目標設定や実績（数

値)で報告が可能なものがあれば、各部会で検討をお願いしたい。例えば、相談支援部会では、現在の目標に加えて、就労支援、アピアランスケア、がん診断後の自殺対策、その他の社会的な問題などについて、各病院から実績数を取りまとめ、報告をお願いしたい。

〈質疑応答〉

均てん化・集約化について、滋賀県の中ではどこで議論を行うのか。

→がん診療連携協議会においては、診療支援部会で議論を行いたいと考えている。

今後超高齢化社会となっていく中で、医療資源が枯渇することが予想されており、均てん化・集約化が必要となってくる。それを踏まえて議論を行う必要があると考えており、その場には患者会の方にも入っていただく。

2. 令和7年度の取組について

協議会・企画運営委員会および各部会より今年度の取組みについて報告。

(協議会・企画運営委員会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。協議会・企画運営委員会を年2回、リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学、滋賀県がん医療フォーラムへの参加・開催予定。

(相談支援部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。がん相談支援の充実を目標とする。部会、ワーキンググループをそれぞれ年2回程度開催、がん相談員研修会を年度末に開催予定。

拠点病院の要件として、がんと診断された誰もが特に相談がなくてもがん相談支援センターを訪れることのできる体制づくりとあるので、引き続き各施設で相談支援件数の増加に向けて支援いただきたい。

(地域連携部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの年間目標としては、地域連携パスの登録件数を200件としている。パスの利用が減少しており、原因の分析と対策が課題となっている。

(がん登録推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランについては、がん登録実務のスキルアップおよびがん登録の標準化と精度向上の推進を目標とする。今年度は部会2回、研修会2回実施予定。第1回部会については、7月25日に開催した。

(診療支援部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの目標をがん診療の支援と高度医療の推進とする。第1回部会を6月23日に開催済み。第2回以降については、メールでの意見交換、必要に応じてZoom会議を実施予定。各拠点病院のホームページや広報誌に掲載しているがん診療に関するトピックス、各病院で行われている高度医療について、臓器別、医療機関別にがん情報しがに掲載している。がんゲノム医療についての情報共有を行っていく。

(研修推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの目標を各種研修に関する調整と計画の作成とする。第1回部会を8月18日に開催済。現地開催やハイブリッド形式での開催が増加していることから、参加者数のカウント方法に、現地での参加人数に加え、動画視聴回数もカウントしていく。

(緩和ケア推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。第1回部会を7月17日に集合形式にて開催済み。次回以降はZoom会議を予定している。県内のがん診療連携拠点病院等において、緩和ケア研修会を実施する。そのほかの研修やイベントとして、世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座、緩和ケアチーム研修会、ELNEC-J研修会を開

催する予定。

3. 第17回滋賀県がん医療フォーラムの予定について

令和8年2月23日（月）13時30分より現地開催予定。会場は栗東芸術文化会館SAKIRA（さくら）の中ホールで定員400名の予定。

特別講演を女優の原千晶さんをお願いし、基調講演をがん研究会有明病院腫瘍精神科部長の清水研先生をお願いしている。清水先生の演題については未定であり、資料には仮の演題を掲載している。閉会の挨拶については、協議会副会長の天津赤十字病院小川病院長に依頼。

その他、司会進行等、会員の皆様のご協力をお願いしたい。

4. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025滋賀医科大学について

・令和7年10月11日（土）～12日（日）に現地開催予定。

・「がん患者は24時間がんと向き合っている」ということをコンセプトに、タスキをつないでコースを24時間歩くイベントであり、ブース出展や学生企画、公開講座等が企画されている。がん診療連携協議会としてもブース出展等で参加予定。

・入場料無料、参加協力金が一般1,000円となっており、寄付金はイベント開催経費を除いた全額を日本対がん協会へ寄付し、がん征圧のための活動に利用される。

5. 希少がんについて情報提供と対応状況の調査依頼について

近畿希少がん連携協議会の大阪国際がんセンター松浦総長より、各拠点病院への依頼がされる。国立がんセンターの運営するウェブサイト「がん情報サービス」の「希少がんの病院をさがす」に、各希少がんについて病院の専門レベルを◎○△の3つに分類して情報が掲載されているが、病院によっては実態を反映していないと思われるものも見受けられるので、正確な対応状況を再調査させていただきたいとのこと。診断、各治療、セカンドオピニオン実施について、また希少がんには標準治療のないものもあるので、治験や臨床試験についても併せて記載させていただきたいとのこと。

依頼書には回答期日が記載されていないため、確認のうえ、各拠点病院の事務局あてに、当院からメールにて送付する予定。質問に関しては、直接大阪国際がんセンターにさせていただくか、当院へメールにて送付いただければ、当院から取り次ぐ。

かなり詳細な調査であり、ご負担をおかけするが、希少がんについてのネットワークの構築のため、ご協力いただきたい。

近畿地方のがんの現状について、2023年の全国がん登録データによると、滋賀県の年齢調整死亡率は96.2であり、近畿で一番低くなっている。年齢調整とは、もし人口構成が基準人口と同じだったらと比較できるように調整された数値。年齢調整罹患率も近畿で一番低くなっている。がんになっても亡くなっている方が一番少ないというデータ。

6. 県からの報告事項

・今年度のがん対策事業および予算について

令和6年度から令和11年度が滋賀県がん対策推進計画の第4期となっている。今年度、新たな事業としては、3年に1回実施している「がん患者調査」をがん患者団体連絡協議会と連携し実施している。来年度、県がん対策推進計画の中間評価の年となるため、この調査結果も含め評価していきたい。

また、がん対策の事業のいくつかでがん基金の財源を活用しているが、がん基金が目減りしてきており、今後の事業継続について検討していく必要がある。

・がん情報しがのリニューアルについて説明。第4期滋賀県がん対策推進計画に、県とがん診療連携協議会が、がん情報しがに情報を一元化し、県民、関係者へ情報提供を行う旨が記載されている。がん情報しがは、県のホームページ内に存在しているが、別で業者に委託し独立したものとして開設されており、情報更新が十分になされていない箇所、情報更新しているうちに、ページの配置が間違っている箇所、どこに掲載

	<p>されているのかわかりにくい箇所等もある。</p> <p>令和8年度に県のホームページがリニューアルされることに伴い、がん情報しがも県のホームページの配下においてもらえるよう調整中。スマホ対応版にもリニューアルする予定。情報を整理し、相談支援部会で作成されている滋賀の療養情報に合わせて定期的に情報更新を行っていくことで情報更新や情報の整理に努めていきたいと思っている。</p> <p>7. その他連絡事項</p> <p>がん患者団体連絡協議会からの連絡事項について</p> <p>第3回がん患者アンケートを行っており、各病院にご協力いただいている。アンケート項目の中には、県のがん対策推進計画の成果指標になっているものもあり、今年度中に結果をまとめて報告予定。</p> <p>11月15日に第3回がん医療講演会を実施予定。場所は草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津）。</p>
そ の 他	<p>【次回開催予定】</p> <p>令和8年3月予定。</p>

以上のとおり報告します。

令和7年 8月 29日
滋賀県がん診療連携協議会 会長 足立 壯一